



ラニーニャ現象って何?

ペルー沖の海水温低下が影響

コブク郎 梅雨や夏の話題で出てくるラニーニャ現象って何なの?

ラニーニャはスペイン語で「女の子」という意味。ペルー沖の海水温が高まる「エルニーニョ」の逆の現象なんだ。エルニーニョは「男の子」の意味だよ。

コ どういう仕組みで起るの?

コ それが、なぜ日本やほかの地域に影響してくるの?

でも、この夏はフィリピン付近の対流活動がまだ活発でない。太平洋高気圧の勢力も強くなり、梅雨明けは遅れる可能性も出てきた。気象庁は、まとまった雨は降るものの、四国で起きている水不足を一気に解消するほどではないとみている。

コ どういう仕組みで起るの?

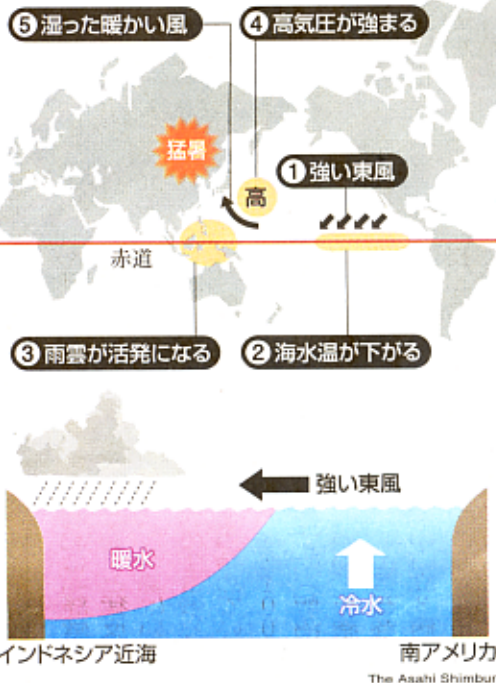
コ どういう仕組みで起るの?

コ どういう仕組みで起るの?

コ どういう仕組みで起るの?

コ どういう仕組みで起るの?

ラニーニャ現象時の大気と海洋の流れ



世界規模でも大気の流れが変わり、異常気象をもたらすとされている。最近の南米の低温、豪州の大雨もラニーニャの影響とみられるよ。

コ 梅雨にも関係すると聞いたよ。

コ この半世紀余りでラニーニャ現象は12回発生しているが、梅雨時

コ 現象はいつまで続くの?

コ 過去のケースは、ほとんど次の春まで続いている。ラニーニャ現象が発生していると、偏西風の蛇行を強め、日本に寒気を南下させやすい。だから冬の気象にも影響する。最近では「平成18年豪雪」の一因がラニーニャ現象だったとされる。(大久保泰)